

第 186 回ラドテック研究会講演会

期 日：2024 年 8 月 30 日（金） 13：00～16：40
会 場：早稲田大学 121 号館コマツ 100 周年記念ホール
主 催：一般社団法人ラドテック研究会
協 賛：一般社団法人近畿化学協会・一般社団法人色材協会・合成樹脂工業協会
一般社団法人日本接着学会・フォトポリマー懇話会
一般社団法人有機エレクトロニクス材料研究会 （予定 順不同）

<プログラム>

敬称略

1) 13：00～13：50（質疑応答含む）

「無機材料との複合化による天然色素の安定性向上」

静岡大学 河野 芳海

近年、安全性や環境の観点から、着色材として天然色素が注目されるが、安定性に劣る欠点がある。細孔や層状構造を持つ無機材料に天然色素分子を固定化することで、その安定性を大幅に向上できる。本講演では、色素の性質に合わせた無機ホスト材料の選定と、得られた色素複合体の物性を紹介する。

2) 13：50～14：40（質疑応答含む）

「刺激応答性自己組織化材料の創出」

東京理科大学 関 淳志

我々は刺激応答性ソフトマテリアルの創出を目的として研究に取り組んでいる。本講演では、電場に応答して極性構造を形成し特異な光起電力効果を示す強誘電性 π 共役液晶や様々な化学刺激に対して応答を示す発光性超分子ゲルについて、ご紹介したい。

14：40～15：00 休憩

3) 15：00～15：50（質疑応答含む）

「歯科接着の技術的特性と現状」

YAMAKIN 株式会社/高知大学 坂本 猛

歯科で使用する接着系材料は有機化学や高分子化学を基礎として開発されているが、独自の進化をしている。本講演では、技術的な独自性の事例が挙げながら、歯科接着の発展と現状について解説する。

4) 15：50～16：40（質疑応答含む）

「規格試験を踏まえた粘着特性評価法の高精度化と試験結果の信頼性評価」

明治大学 宮城 善一

粘着剤・粘着製品の品質評価は主に国内外の規格試験で行われているが、粘着剤・粘着製品の高機能化を踏まえ、粘着特性の評価法の高精度化・高度化の必要性と、評価結果の不確かさの評価と信頼性表記の方法を考える。

17：00～18：30 懇親会

※プログラムは変更になる場合がございます。